

観光地域づくり法人(DMO)事業報告書

※ 黄色枠部分についてご記入ください。

※ 提出時期は、【毎事業年度の終了後4か月以内】となりますのでご注意ください。

1. 基本情報

DMO名称	一般社団法人奥むさし飯能観光協会			記入対象期間	令和4年4月1日～令和5年6月30日	
				記入日	令和5年7月27日	
DMO登録区分	登録DMO		候補DMO 登録日	令和2年10月16日	登録DMO 登録日	令和4年3月28日
代表者	所属組織	株式会社中央ギフト商事	役職	代表取締役会長	氏名	中里忠夫
CMO	所属組織	一般社団法人奥むさし飯能観光協会	役職	事務局長	氏名	沼崎修一
CFO	所属組織	一般社団法人奥むさし飯能観光協会	役職	事務局員	氏名	柿沼伊予子
記入者(担当者)	所属組織	一般社団法人奥むさし飯能観光協会	役職	事務局長	氏名	沼崎修一
連絡先	TEL	042-980-5051	E-mail	hannokanko@gmail.com		

2. DMOの登録要件に対する自己点検

点検項目			自己点検結果 【選択】	(左欄で満たしていないを選択した場合) 具体的に、どのような点において 満たしていないと認識しているか
[1]	I	合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている(会議体を主導する等)	満たしている	
	II	地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政が全て参画している	満たしている	
[2]	I	少なくとも、延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率について継続的にデータを全て収集している(また、WEBサイトのアクセス状況、住民満足度のデータを収集していることが望ましい)	満たしている	
	II	戦略において設定するコンセプトが、地域の強みや魅力を端的かつ分かりやすく表現している	満たしている	
	III	誘客マーケットに関するターゲット設定について、収集したデータの分析結果に基づいて設定している	満たしている	
	IV	上記[2] I～IIIを踏まえた適切な項目及び目標数値のKPIが設定されている(延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の4項目は必須とし、地域の実情に応じた適切な年次、目標数値、伸び率等が設定されている)	満たしている	
	V	戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している	満たしている	コロナ禍によりPDCAの実施が儘ならなかったため、評価・分析は徹底されていない。状況説明と対応については、役員会・総会で共有している。
	VI	PDCAの実施に際して、上記[2] Vの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている	満たしている	蓋然的にオフピークが訪れると認識されていたので、コロナの拡大期に計画の見直しはしていない
[3]	I	地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している(広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く)	満たしている	
	II	上記[3] Iとして、DMOIにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している	満たしている	
	III	戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている	満たしている	
	IV	戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている	満たしている	
	V	情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行っている	満たしている	
[4]	I	DMOが法人格を取得している	満たしている	
	II	DMOの業績について対外的に説明責任を果たすため、最終的な責任者が明確化されている	満たしている	
	III	データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO:チーフ・マーケティング・オフィサー)が専従で最低一名存在している	満たしている	
	IV	DMOの持続可能な運営のため、運営収支や安定的な運営資金の確保に関する財務責任者(CFO:チーフ・フィナンシャル・オフィサー)を設置している	満たしている	
[5]	I	安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源(宿泊税・地方税等の地方税、負担金)、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある	満たしている	
	II	運営資金のうち、行政からの支出による財源(補助金等)が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている	満たしている	

3. 具体的な取組状況

(記入上の留意点)

- ※ 形成計画の記載内容に基づき、実際に取り組んだ実績や成果をご記載ください。
- ※ いつ取組を行ったのか、具体的な時期をなるべく盛り込んでいただきますようお願い致します。
- ※ 途中段階の取組であっても、どこまで達成できたのか、いつ達成する見込みなのかをなるべく詳細にご記載ください。

(1)DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者との合意形成について

【関連する点検項目】

[1]Ⅰ. 合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている(会議体を主導する等)

合意形成の仕組みとして位置づけている会議体の名称(例:理事会、協議会等)	役員会
上記合意形成の仕組みの概略(例:DMOの役割、行政やその他構成員の役割分担等)	役員は、会長1名、副会長5名、監事2名、常議員33名の41名で構成されている。他にオブザーバーとして行政より飯能市役所産業環境部観光・エコツーリズム推進課より管理職等が参画している。
直近1年間における開催実績と参加人数 ※開催していない場合は、その理由と今後の見通しを記載すること。	令和4年4月26日(火) 29名 7月26日(火) 30名 9月27日(火) 27名 11月29日(火) 28名 令和5年1月27日(金) 24名 3月22日(水) 25名
上記合意形成の仕組みとなる会議体以外の設置状況・開催実績について、ご記入ください。(例:分科会、ワーキンググループ、実務担当者会議等)	
他に正副会長会議 火気有料化部会 経営改善部会 通常総会 ※情報発信部会・観光開発部会は未稼働で、情報発信や観光開発(ツアー商品・新規物産開発)については事務局中心であったり、事務局と少数の関係者で対応しているの現状で多様な関係者との合意形成という段階にはない。多様な関係者との合意形成に費やす時間を考えると、時宜を得た対応や時機を逸することも考えられ、悩ましい点でもある。	

【関連する点検項目】

[1]Ⅱ. 地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政 が全て参画している

上記合意形成の仕組みとなる会議体における構成員のうち、以下の①～④に該当する関係者の組織・団体名を全て挙げてください。 ※会議体の最新版の構成員名簿を添付すること。 ※関係者がいない場合には、その理由を明記すること。	
①地域が売りとする観光資源の関係者(文化財、国立公園、農泊、アクティビティ、農林水産業、商工業等)	㈱中央ギフト商事 ㈱大和建設 ㈱平栗園 飯能大通り商店街協 (有)斎藤電気商会 (有)木澤屋酒店 ㈱Akinai (有)天ヶ瀬工業 五十嵐酒造㈱ きまま工房木楽里 ㈱KOFKA NPO法人ハンノウ大学 小谷野果樹園 新電元工業㈱ OfficeSanta (学)駿河台大学 ㈱タケシヨウ ㈱英国屋 武陽山能仁寺 Kinoca 協飯能銀座商店街 ㈱飯能ケーブルテレビ 飯能商工会議所 飯能信用金庫 (公社)飯能青年会議所 飯能中央通り商店街協 (一社)里山こらぼ 長寿庵 ㈱ブラウズ
②宿泊事業者(旅館、ホテル等)	㈱森田建設緑化 名栗温泉大松閣 バーベキユースポットさつき 白岩渓流園 ぶな総合企画㈱ 休暇村奥武蔵 ケニーズファミリービレッジ ホテルヘリテイジ
③交通事業者(鉄道、バス、タクシー等)	国際興業㈱飯能営業所 西武鉄道㈱ 西武バス㈱飯能営業所
④行政	飯能市観光・エコツーリズム推進課

(2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立

【関連する点検項目】

- 〔2〕Ⅰ. 少なくとも、延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率について継続的にデータを全て収集している(また、WEBサイトのアクセス状況、住民満足度のデータを収集していることが望ましい)
- 〔2〕Ⅱ. 戦略において設定するコンセプトが、地域の強みや魅力を端的かつ分かりやすく表現している
- 〔2〕Ⅲ. 誘客マーケティングに関するターゲット設定について、収集したデータの分析結果に基づいて設定している
- 〔2〕Ⅳ. 上記〔2〕Ⅰ～Ⅲを踏まえた適切な項目及び目標数値のKPIが設定されている(延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の4項目は必須とし、地域の実情に応じた適切な年次、目標数値、伸び率等が設定されている)

KPIの達成状況についてご記入ください。 ※過去3年間、今後3年間分を記入すること。													
項目 【単位】		2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
必須KPI													
①-1 旅行消費額 (総額) 【千円】	全体	24,180,000	24,109,000	26,650,000	27,146,000	29,240,000	34,294,000	35,322,000		36,382,000		37,473,000	
	インバウンド												
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価) 【円】	全体	7,000		7,600	8,411	8,600	10,625	11,000		11,500		12,000	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		コロナ禍でPDCAはPの部分に凍結したため、現状の観察(Observe)、適応(Orient)、行うべきことの決定(decide)、行動(act)という具合に時宜を得た消費振興策を行い、目標には到達した。令和4年度は先行きの不透明感から保守的な目標を立てたが、実際は目標を超えることができた。											
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	90	85	98	79	104	215	221		228		234	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		緊急事態宣言の発出やGotoトラベルの実施等で、各施設毎で稼働に差が出た。令和4年はコロナが蔓延したが、保守的な見通しを覆すように、宿泊数が伸びた。自粛疲れ、首都圏から短時間で来訪できる立地が選択肢となった見方もある。											
③来訪者満足度 【%】	全体	57		58	76.9	76.9	78.5	80		85		88	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		来訪者満足度は再訪率の高さに繋がっている。来訪者が増加すると満足度を上げることが難しくなるが、80%を維持し90%したい。											
④リピーター率 【%】	全体	88		89	94.2	94.2	76.8	80		85		88	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		90%を超える再訪率であったが、76.8%に落ち込んだ。入込客数が3年(3,184,398人)に比べ増加し、特にコロナの影響で、都心から近く、開放的な世界が広がる飯能に初めてくる人たちが増えたのではないかと推察される。											
その他の目標													
Webサイトの アクセス状況 【回】	全体	94,500	50,560	99,000	51,989	105,000	164,563	167,000		169,000		171,000	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		保守的に予想していたが目標の157%となった。前述のとおりコロナの影響で、都心から近く、三密とは真逆の開放的な世界が広がる飯能に行ってみたくて訪れている人が増加したのではないかと推察される。											
住民満足度【%】		65		68	74.3	74.3	81	80		80		83	
直近のKPI達成状況に対する分析		ベッドタウンで都心に通勤や通学する人たちが多く、高評価を得ている。現状程度の観光客数であれば、受忍限度内ということで評価していると捉えることもできる。いずれにしても、住民の満足度を上げつつ、観光振興を図る、という難しい課題を解決していかなければならない。											
着地型旅行商品販売数【人】				7	4	10	6	12		14		16	
直近のKPI達成状況に対する分析		平日や閑散期に来訪を促すために、取り組んでいる。超マイクロツアーのような様相のツアーもあるが、こつこつと続けて、常連客の拡大を図ってきたい。											
データに基づく明確なコンセプトを持った戦略策定に至るまでのプロセスや、分析方法(内部・外部環境分析、SWOT分析、STP分析、マーケティング・ミックス等)について、ご記入ください。 ※自治体が策定する観光振興計画が存在する場合は、当該計画と戦略との整合性が留意されているかも踏まえて記入すること。 ※DMOとして策定した戦略の内容が分かる資料が存在すれば、添付すること。													
コロナ禍でみられた観光客の集中による、観光公害を招かぬように対策をとりながら、来訪者を増やし、消費額を増やすのは難しい。事業規模や施設を拡大し駐車場の拡充等を図って団体や自家用車の来訪者に対応できるようことも考えられる。駐車場の拡充を求める声も多い。が、消費者の嗜好や要望を分析して対応すること(マーケットイン的発想)より、小規模な事業者、小規模な施設、狭隘な立地、SDGsに積極的に係わっている活動方針等のDMOの実態を深慮し、当地域の特性に合った観光振興に努めること(プロダクトアウト的発想)が肝要として、当地域の特性に合った観光振興に立脚して、設定・分析している。環境や社会の課題に関心を持ち、一定の考えに基づいた意志と規範意識・遵法精神の高い人々が集う観光地になることが目標である。													

【関連する点検項目】

- [2]V. 戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している
- [2]VI. PDCAの実施に際して、上記[2]Vの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている

戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した資料を作成し、書面により関係者に共有した実績についてご記入ください。
 ※PDCAの実施については、評価・分析に基づいて、必要に応じて計画の見直しを行った場合は、その具体例も記入すること。
 ※実際に共有を行った資料を添付すること。

毎年通常総会の席で事業報告について上程し、審議のうえ可決している。コロナ禍により不測の事態を招き、受け入れ体制等をコロナ前に復することから始めているので、観光振興の基本的な考え方の変更はない。ただ、一人当たりの旅行消費額、延べ宿泊客数、Web閲覧数は、目標値を大幅に超える数値であったので、計画を上方修正している。再訪率については想定を大きく超える高さ(94.3%)であったので、現状維持で設定したところ、新規来訪者の増加により、76.8%となったため、5年度を80.0%に変更した。

持続可能な観光に関する国際的な認証・表彰の取得状況について

	日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)ロゴマーク【選択】	グリーン・ディスティネーションズによる認証・表彰【選択】 ※複数で表彰された場合は最上位の表彰を選択	ベスト・ツーリズム・ビレッジとしての認証【選択】	その他、持続可能な観光に関する認証制度等(自由記述)
取得状況	取得していない	いずれも受けていない	認証を受けていない	令和2年6月に林野庁・(公社)国土緑化機構の「森林サービス産業」推進地域に登録

持続可能な観光の取組の実績について、ご記入ください。(例:観光客のマナー違反対策、事前予約制や混雑状況の可視化、ゴミの削減や環境に配慮したコンテンツ開発、観光客増加による影響に関する住民向け説明会 等)

1. 令和4年度の飯能河原火気有料化実証実験事業・令和5年度飯能河原火気有料化事業を通じて火気使用区域を設定し、区域内での火気使用を有料化とし、入場者数の制限を図り、美化の促進と風致の維持に努めている。2. 地域資源の西川材を利用した土産物品開発に着手し土産物品の木質化を進めている。3. 飯能水販売に当たりペットボトルを100%リサイクルの物に代替した。4. 低山での山岳遭難が多発していることから、ご当地イメージキャラクター 夢馬を使った注意喚起を図る「三点確保」シールを販売し、同じく「早立登山」「早着登山」シールの販売も計画中である。

デジタル化やDXを推進するための取組の実績について、ご記入ください。
 (例:CRM、DMPの導入、地域内の宿泊施設へのPMS導入支援、MaaSによる二次交通の利便性向上 等)

CRM、DMP、PMS、MaaS、については何れも導入していないが、協会内に経営改善部会(役員・会員より10名を選出)を向け、業務の効率化、旅行商品や土産物品の販売についてデジタル化の促進やDXの推進に努めている。

(3) 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

【関連する点検項目】

[3] I. 地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している(広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く)

地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組の実績について、ご記入ください。
(例: 住民対象のアンケート調査、住民参加型の着地型ツアー、観光教育プログラム 等)

令和5年度よりKPIの住民満足度を把握するために、飯能市民向けのアンケートを実施している。飯能河原周辺の河原町・三丁目・大河原・本郷の4自治会と火気有料化実証実験に伴い、令和4年7月12日、同9月15日、同12月19日、令和5年3月29日の4回にわたり、意見交換と事業内容に関する協議を行い、共通認識を確立している。飯能地区まちづくり推進委員会とも適宜情報交換を行い、令和5年5月30日に同委員会総会に出席し事業について説明し協力を依頼している。市内町内会が主催する飯能夏まつりについて出席し意見を述べるとともにパンフレットを作成し来場者への案内とサービス向上に努めている。令和4年7月22日、同10月4日のわくわく名栗クラブに出席し観光協会の意向について説明している。

【関連する点検項目】

[3] II. 上記[3] I として、DMOにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している

DMOの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況やDMOの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により地域住民も含めた関係者に対して説明・共有を行った実績について、ご記入ください。

(例: 地域住民向け説明会、DMOの取組を紹介する広報誌・アニュアルレポートの作成 等)
※実際に説明・共有を行った資料も添付すること。

はんのうい塩梅第1号、第3号、第4号を通じて火気有料化事業に伴う飯能河原の現状を説明している。 ※添付会報誌、はんのうい塩梅第1号、同3号、同4号を参照。

【関連する点検項目】

[3] III. 戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている

戦略の共有に照らし合わせて、地域の多様な関係者が参画する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を行った実績や具体例について、ご記入ください。

正副会長会議(令和4年4月15日、同5月23日、同6月20日、同7月11日、同8月8日、同9月8日、同10月5日、同11月8日、同12月14日令和5年1月11日、同2月14日、同3月8日、同4月11日、同5月9日、同6月21日、同7月18日) 役員会(令和4年4月26日、同7月26日、同9月27日、同11月29日、令和5年1月27日、同3月22日、同5月19日、同7月14日) 通常総会(令和4年6月8日、令和5年6月8日) 火気有料化部会(令和5年2月27日、3月16日、4月20日、6月5日、6月16日、7月19日) 経営改善部会(令和5年4月4日、同4月12日、同5月9日、同6月6日、同6月13日、同7月18日、同8月24日) 周辺4自治会との意見交換と事業内容に関する協議(令和4年7月12日、同9月15日、同12月19日、令和5年3月29日) 飯能地区まちづくり推進委員会総会での協会事業の説明(令和5年5月30日)などの場において、取組見不足やPDSAサイクルの不具合、未実施事業についての取捨選択、優先順位、戦力の集中等の指摘を受け修正しながら事業を行い戦略の共有が図れるよう意見の収斂に努めている。

【関連する点検項目】

[3] IV. 戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている

観光資源の磨き上げや受入環境の整備等の着地整備の取組の実績について、ご記入ください。
(例: 着地型旅行商品の造成・販売、域内交通を含む交通アクセスの整備に係る調整、多言語表記 等)

森林文化系おとな旅(エコツアー)を6本催行し、令和5年度は4月23日(伊豆ヶ岳)、6月5日(棒ノ峰)、7月20日(子ノ権現と竹寺)に開催している。令和4年度観光庁補助金の地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業において「森林と源流のリトリートツアー(読書篇)」のモニターツアー(令和4年11月19日・20日)を催行し、国交省から特別に認可されている公共交通空白地有償運送事業の『奥武蔵らくらく交通』を観光目的で活用した。

観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制のための取組の実績について、ご記入ください。
(例: 品質保証制度、OTAの活用、人材育成研修、CRMによるマーケティング 等)

KPI 獲得のために来訪者向けのアンケートを行い資料を収集している。観光サービス全体に対する意見を求め、大変不満足から大変満足までの選択肢を設け評価を求めている。特に大変満足との回答をした来訪者のうち、具体的な内容を記述している回答は、会報誌はんのうい塩梅に「お客様からいただいた珠玉の言葉集」というコーナーを設け掲載し、会員事業者のサービス向上に繋げている。

【関連する点検項目】

〔3〕V. 情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行っている

情報発信・プロモーションに係る取組の実績について、ご記入ください。
 (例：ワンストップ窓口の整備、ターゲット別のプロモーション方針の作成、SNS発信、観光案内所のサービス維持・向上、トップセールス 等)
 飯能観光協会事務局、飯能観光案内所おみやげショップ夢馬(ムー馬)、飯能駅観光案内所ぶらっとはんのうの3か所で案内業務の充実とサービス向上に努めている。Webサイト「はんのう。いい塩梅。」の充実とSNS発信に努めている。紙媒体会報誌「はんのういい塩梅」の発行により会員間の情報共有と戦略の収斂に努めている。

一元的かつ効率的に情報発信・プロモーションを実行するための、DMOと地域の多様な関係者(自治体・民間事業者等)との役割分担について、ご記入ください。
 自治体を始め観光事業者に対して情報の提供を常時求め、可能な限り収集発信に努めている。ワンストップで、観光協会の案内所・ウェブサイトへ接触すれば、あらゆる情報の収集が可能になる体制構築を目指している。

DMOが運営・管理を行っている、地域全体を包括する情報発信・予約・決済機能をシームレスに提供するウェブサイトについて(ない場合は「なし」と記入)
 はんのう。いい塩梅。

上記ウェブサイトが以下に該当する場合はチェックをつけてください。

(a)地域全体を包括している※1	<input checked="" type="checkbox"/>	(b)宿泊、体験・アクティビティ、飲食に係る情報を掲載している※2	<input checked="" type="checkbox"/>	(c)宿泊及び体験・アクティビティについては、サイト内または他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能状態になっている※3	<input type="checkbox"/>
(d)ターゲットに即した言語※4で(a)、(b)、を満たしている	<input checked="" type="checkbox"/>	(e)ターゲットに即した言語で、宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内または他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能状態になっている※5			<input type="checkbox"/>

※1 自地域のウェブサイトにおいて、地域内の主要な各エリアの情報を1つ以上掲載している状態を指す。
 ※2 自地域のウェブサイトにおいて、※1の主要な各エリアにおける各情報(①宿泊、②体験・アクティビティ、③飲食)をそれぞれ1つ以上掲載している状態を指す。
 ※3 自地域のウェブサイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態、又は、OTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。OTA等のリンクを掲載するのみで当該施設の予約画面まで直接遷移しないものは含まないこととする。
 ※4 戦略においてターゲットと設定している国の言語対応を指す。
 ※5 ターゲットに即した言語で自地域のウェブサイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態、又は、その国の旅行者が主に使用しているOTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。

(4) 安定的な運営資金の確保

【関連する点検項目】

〔5〕I. 安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源(宿泊税・地方税等の地方税、負担金)、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある

自主財源(特定財源、自治体からの受託事業(指定管理者制度、ふるさと納税等)、収益事業(旅行商品の造成・販売等)、会費等)の更なる確保に向けた今後の見通しについて、ご記入ください。
 収益事業 ①飯能河原の火気使用有料化事業の実施 ②観光案内所での会員事業所商品の委託販売手数料 ③自主商品(飯能水・飯能炭じろう・渋沢平九郎手拭・山キーホルダー・夢馬レジャーシートとバッジ、シールの販促と新商品(夢馬レジャーシートとシールの新たな展開・マンホールキーホルダー・マンホールシール)の開発 ④森林文化系おとな旅(エコツアー)の造成と催行 ⑤会員拡大 ⑥バス定期券・遊漁券の販売手数料

【関連する点検項目】

〔5〕II. 運営資金のうち、行政からの支出による財源(補助金等)が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている

運営資金のうち行政からの支出による財源が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に検討を行ってきた実績や協議内容についてご記入ください。
 ※自主財源の確保に向けて、具体的な行動計画を策定していれば、その内容についても触れること。
 飯能市が運営している観光関係の3つの部門が令和7年度末を目途に観光協会に運営が移管されるので、飯能市エコツーリズム推進協議会と飯能市アニメツーリズム実行委員会の運営を通じて収益化を図る。

(5) その他特記事項

※上記以外の項目で、特徴的と思われる取組内容がありましたらご記入ください。

4. 次年度(次期)の事業計画の概要

添付の令和5年度通常総会資料参照

※外部組織等によるDMOの事業や予算に対する検証の仕組みについて

外部組織等による検証の有無	無	検証時期(有の場合)	
検証方法(有の場合)			
外部組織等の参画者(有の場合)			
検証結果の公表の有無(有の場合)	無	公表方法(有の場合)	

有
無